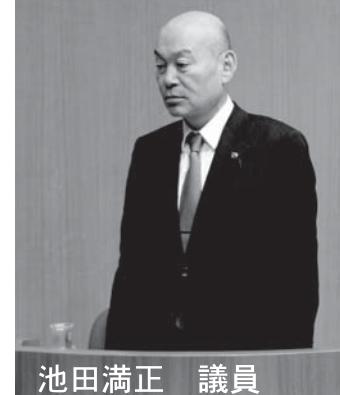


旧中山町庁舎の活用は？

町長

将来に備え
適正に管理する

池田満正 議員



【池田】大山町が誕生し7年。旧中山町庁舎は竣工して46年が経過している。

【町長】旧庁舎は、今後も倉庫として使用するのか。それとも取り壊しも含め、他の使用方法を考えているのか。

【池田】今後10年、20年使用するとなると、使用方法、内部の整理、建物全体の補修などどうするつもりか。

【町長】内部の整理は心配いただいている通りである。適正に活用できるよう書類などの整理を指示した。

建物全体の補修は、旧中山町庁舎に限らず、計画的に修繕を行う。

今後、必要な建物の適正な維持管理に努めていく。



活用されていない旧中山町の議場



杉谷洋一 議員



介護予防は大切

介護保険料の見通しは？

町長

上昇は避けがたい

ると高い。高齢化が進み、介護制度を維持するには、介護保険料の上昇は避けがたい。

【杉谷】介護保険料の改定が提案され、保険者の負担が1095円増の5490円と、大幅増になった。

【町長】大きな要因としては、重度の介護サービスをうける要介護者が増えたこと。施設を開設し、待機者が施設を利用した

【杉谷】高齢世帯や核家族化で、介護が困難となり、社会問題化している。介護保険の見通しは。

【町長】町内介護施設の充足率は、県・町指定の施設を合わせ

ため、料金がかさんだ。待機者の割り合いは、近隣町村と比較して低い。

【杉谷】要介護状態の予防事業は。

【町長】3B体操教室や認知症サポートセンター養成講座などを実施している。

【杉谷】脳ドックの取り組みは。

【町長】昨年もれた人も含めて定員を増やし、要介護者の抑制につなげたい。